



◎進路を選択する。

「進路を選択する」とはどのようなものでしょうか。

例えば中学生となった当初、どの部活動に入るのか、もしくは入らないのか。また学校外のクラブチームに所属するのかといったような進路選択を経験しています。

こうして考えてみると、小学生のころに出会った競技や取組を今も続けていれば、すでにその時に経験しているのです。また、その競技や取組を通じてできる経験や人間関係などが自分の将来に大きく影響を及ぼすことだってあるのです。

もうずいぶん前のことになりますが、先生が野球部の監督として、そして担任として3年間かかわった生徒がいました。彼は後に投手として高校野球の全国大会（いわゆる甲子園）に春、夏と出場することになります。夏の大会が終わった後、彼の保護者は、先生にこう言ってくださいました。

「先生、中学校に上がる（進学）するとき、この中学校の野球部に入（い）れるか、クラブチームに入れるか悩みました。正直なところ、クラブチームに入れなかったことを後悔したこともありましたが、でも今振り返ると、中学校の野球部に入れて本当に良かったです。先生が◎◎学園への道を進めてくれなければ、こんな経験はなかったのですから。」と。おそらく彼自身も同じように考えてくれていたと思います。しかし、先生がしたことはその生徒の進路について、入口をお世話したにすぎません。

「進路を選択する」とは入口を選ぶということに過ぎないのかもしれない。

では少し考えてみましょう。もしこの年、◎◎学園が予選で敗退し、全国大会に出場できていなかったとしたら、彼はどのように◎◎学園へ進んだことを振り返るでしょうか。

なぜなら全国大会（甲子園）に出場できたことは偶然だったかもしれないでしょう？

大切にしなければならぬことは、偶然ではないこと、つまり必然ではないのでしょうか。わかりやすくいうと進学後の彼の努力（自分との闘い）、そして3年間の経験や作りあげた人間関係ではないのでしょうか。

彼が中学生の間に、がんばれる自分をつくっていたということも重要です。

このことは高校卒業後の、彼の進路選択に現れてきます。

彼はさらなる夢を求めて社会人野球の世界に飛び込みました。しかし、あるとき「先生、野球を辞めました。」という報告がありました。もちろんその理由を尋ねてみると、「資格をとるために勉強しています。しっかり働きます。野球はまた、資格を取った後にやらせてもらえるなら続けようと思います。」と言うのです。その言葉を聞いたときは、正直なところとても驚きました。なぜかという、彼は中学時代全く勉強などせず、テストでは毎回とても残念な結果を出していたからです。

そんな彼はその時初めて、たくさんの卒業生と同じように「先生、中学校の時、もっと勉強しといたらよかったです。」と書いていました。

現在彼は社会人として、つかみ取った資格を生かし、立派に働き家族を養っています。

中学生の彼のままでは想像できない状態だと思っています。まさに高校3年間のがんばりと経験は、彼の生涯にわたって大きな影響を及ぼし続けています。

「進路を選択する」とは

それは次のステップへの入口を選ぶということに過ぎないのかもしれない。

大切にしなければならぬことは進学後のがんばり、そしてがんばれる自分を今のうちにつくっておくということではないでしょうか。逃げてばかりではいけないのです。

来週水曜日、第2回学力診断テスト。

一所懸命がんばるしかありません。

◎9月学力診断テスト内容（確認）

9月7日（水）						
一限	国語	・随筆 ・説明的文章 ・古典（1、2年生の範囲） ・漢字と熟語の知識 ・文の成分と文節相互の関係	四限	社会	地理 歴史	・世界の地理 ・人類の始まり ～安土桃山時代の文化
二限	英語	・1、2年の復習 ・受動態 ・その他の復習問題 ・長文総合問題 ・リスニング問題	五限	理科	・化学変化と原子、分子） ・身近な物理現象 ・生物の体のつくりと働き ・大地の成り立ちと変化	
三限	数学	・1、2年の復習 ・展開、因数分解 ・平方根	直定規、コンパス、三角定規が必要です。			

